

金丸千雪 (Chiyuki KANAMARU)

教授 (附属図書館長 2018. 4. 1)

学位： 博士 (学術)

略歴：

MA in Women and Literature

(the University of Hull, England)

北九州市立大学大学院社会システム研究科博士課程修了

専門分野： 近代イギリス文学・文化

研究課題： 女性作家の親子関係からの作品解釈

【著書】

- ・「次世代育成のための社会を求めて：「ベッシーの家庭における悩み」における階級・家族」(『没後 150 年記念、エリザベス・ギaskell 中・短編小説研究』 日本ギaskell協会(編) 大阪教育図書 第 12 章、2015 年 10 月)
- ・『エリザベス・ギaskellとイギリス文学の伝統』(共著, 大阪教育図書 全 384 頁, 2010)
- ・『メアリー・シェリー研究：「フランケンシュタイン」作家の全体像』(共著, 鳳書房 全 339 頁, 2009)
- ・『文学における《愛の位相》—想像力の磁場に一』(共著, 東京教学社 全 360 頁, 2004)
- ・『ギaskell小説の旅』(共著, 鳳書房 全 292 頁, 2002)
- ・『ギaskell文学にみる愛の諸相』(共著, 北星堂 全 276 頁, 2002)
- ・『ギaskellの文学』(共著, 英宝社 全 308 頁, 2002)

【論文】

- ・「ヴィクトリア時代の結婚と女子教育：『アダム・ビード』と『従妹フィリス』における娘たち」(『愛知文教大学論叢』第 19 巻、2016 年 11 月)
- ・「Jane Eyre 再読：不在の母と娘」(『サイコアナリティカル英文学論叢』第 37 号、2017 年 3 月)
- ・「次世代育成のための社会を求めて：「ベッシーの家庭における悩み」における階級・家族」(『没後 150 年記念、エリザベス・ギaskell 中・短編小説研究』 日本ギaskell協会(編)大阪教育図書 第 12 章、2015 年 10 月)
- ・「G・エリオットとギaskellの知的背景：『アダム・ビード』と『ルース』におけるキリスト教思想の比較」(『愛知文教大学比較文化研究』第 13 巻、2014. 11)
- ・「ギaskellの心的外傷から読む“The Doom of the Griffiths”」(サイコアナリティカル英文学会編『英米文学の精神分析的考察』第 2 巻, 啓文社, 2013. 4)
- ・「女性の“身体”を語る：Mary ShellyとElizabeth Gaskellの母親言説」(『愛知文教大学論叢』第 15 巻, 2012. 11)
- ・「G. エリオット『フロス河の水車場』論—E. M. フォスターの芸術観から読む—」(『IMSGINATION-Studia Comparata de Culturae & Litterae-』第 8 号, 2011. 5)
- ・「女性の野心的な欲望：フィクションとしての The Life of Charlotte Bronte」(『サイコアナリティカル英文学論叢』30, 2011)
- ・「人文学部における英語教育の改善に関する一考察：多読による英語学習」(『愛知文教大学論叢』第 13 巻, 2010)
- ・「スポーツ学部における英語教育の改善に関する一考察」(『九州共立大学スポーツ学部研究紀要』3, 2010)

【研究発表・その他】

- ・「英文和訳から翻訳へ：原文から逸脱しないで読むブロンテと樋口一葉」（愛知文教大学公開講座、於・愛知文教大学、2017年11月）
- ・「『アダム・ビード』における女子教育」（第20回日本ジョージ・エリオット協会全国大会、於・大谷大学、2016年12月）
- ・「ロミオとジュリエットの純愛：原作とシネマ」（愛知文教大学公開講座、2014. 4）
- ・「ジョージ・エリオットと19世紀女性作家」シンポジウム〈ギヤスケル担当〉口頭発表
（第17回日本ジョージ・エリオット協会全国大会、於：慶應義塾大学日吉キャンパス、2013. 12）
- ・「ジェンダー・フリーにつながる社会の課題：今、私たちにできること」
（小牧市市民大学こまきみらい塾、於：小牧市まなび創造館、2013. 2～3 全5回）
- ・「英語コミュニケーションによる自己実現」
（春日井市大学連携講座、於：春日井市ふれあいセンター 2012. 1～2 全5回）

【研究テーマ】

イギリス19世紀小説、およびフェミニズム文学批評についての研究